



こどもたちの事故を防ぐために・・・

とくに乳児期から幼児期の事故には
子供の成長・発達段階に応じて変化する
行動の特性が影響しています。



	新生児	6か月	1歳	2歳	3歳		
発達の様子		寝返り	ハイハイ	つかまり立ち	ひとり歩き	走る	階段昇降
誤飲 窒息		たばこ・薬・コイン・ボタン・電池など				洗剤・化粧品などを開けて飲む	
やけど	枕・やわらかい布団	ひも・よだれかけ・ビニール袋	ポット・炊飯器の蒸気に触れる	ライター 花火			
溺 水	湯たんぽ・あんか 風呂・シャワーの湯	食事中に湯のみなどを倒す	ストーブ・アイロンに触る			池や川やプールでおぼれる	
転 落	穀がうっかり落とす	ベッド 自転車	階段	ベビーカーいす		ブランコやすべり台	
打撲や切り傷		角のあるおもちゃ	扇風機の羽にさわる			ドアにはさまる	
その他	自動車内放置による熱中症・交通事故 ベッドと壁の隙間などに挟まれる 家族の身体の一部で圧迫される ミルクの吐き戻しによる窒息		自転車で乗せたまま離れる			歯ブラシを口に入れたまま転倒する	



おしらせ **ご卒業 ご卒業おめでとうございます**



※現在年長さんでMRⅡ期の接種がまだの方は3月中に接種しましょう